

image

尼崎市立大庄北中学校
進路通信
2016年2月5日発行
第33号
発行者 尾之内 潤

いよいよ本番

きょうの朝です。ぼくが電車で出勤中、途中の駅でドアが閉まりかけると、そこに「ガン！」と男性が入ってきました。完全にドアにはさまれましたが、無理やり割りこんで入ってきました。電車が出発すると、放送が流れました。「無理なご乗車はおやめください」。ああ、この人のことだあ、と思いながら後ろ姿を眺めていました。

さて、いよいよ本番の日がやってきました。2月10、11日は私学入試、2月14日は公立の推薦・特色・多部制I期の入試です。倍率も発表されましたが、はっきりいって関係ありません。自分の力を出し切るかどうか、です。

受験を前に、2月8日(月)の1校時、諸注意を行います。「7つのおきて」をお伝えしますので、それまでに予習しておいてください。電車にはさまれた男性のように、あたふたした状態では、100%の力を出し切ることはできません。余裕を持って、準備しましょうね。



七つのおきて

前日までに

1. 高校までの行き方を調べておいてください。〇〇〇は禁止です。電車、バスは余裕をもって学校に到着できる時刻に出発しましょう。
2. 受検票の裏の「注意」などをしっかり読んで、準備しておきましょう。〇〇〇〇など、持ちこんではいけないものを絶対に持って行かないこと。

前日

3. 〇〇ッ〇を持ち帰ること。
4. 前日の夜は無理しないように。早めに〇〇〇に入り、寝ましょう。

本番当日

5. 遅刻しないように。万が一遅刻しそうな時は、おうちの人に〇〇〇へ連絡してもらってください。途中で受験票を忘れたことに気づいたときは、中学校に連絡し、あなたはとにかく〇〇へむかうこと。
6. どのような状態でも受験に行かないと、その時点で受験辞退になります。前日夜に〇〇〇〇〇〇〇とわかった場合、朝一番で中学校に連絡してください。高校に連絡して、指示を受けます。
7. いつも通りの力を出せるように、心を落ち着かせる〇ー〇〇〇をつくっておきましょう。